

■東京支部活動の報告

①平成30年度 主な活動計画について

1月26日:人生塾「ヨット競技の魅力とパリオリンピック出場に向けて」(仮)

② 鎌倉歴史探訪のご案内 参加募集中～

「西郷どん」で登場の薩長藩鼻祖の墓、鎌倉随一の花の寺「瑞泉寺」、国指定史跡で昨年映像化された永福寺跡、市内の仏像写真2百点余を展示する「山門」などメインのコースです。栗山先輩には瑞泉寺で「夢窓国師」・浄妙寺で「尊氏と直義』について話して頂く予定です。

この機会に古都鎌倉の探訪に会員・家族同伴で多数参加頂きたく希望者は3/20までに柑芦会東京支部又は世話役あて連絡下さい。(妹尾親司 spas2u59@ever.ocn.ne.jp)

- (1)日時:4月20日(土)10時30分 JR 鎌倉駅東口改札口前集合 解散は16時ごろ浄妙寺にて
- (2)訪問先は①鶴岡八幡宮参拝→②薩長藩主の墓→③写真観「山門」→④永福寺跡→⑤史跡:瑞泉寺→⑥塔の峰・天園ハイキングコース→⑦五大明王を祀る明王院→⑧鎌倉五山第5位の浄妙寺
- (3)その他・
 - ①参加費@1,000円(拝観料、通信費、写真代、資料代)
 - ②前日の18時時点での降雨確率50%以上の時は中止
 - ③弁当は各自持参(昼食場所は鎌倉宮の参拝者休憩所)
 - ④歩行距離は約6Km

③人生塾「目指せパリオリンピック セーリング(ヨット)競技の魅力」を開催しました

1/26(土)損保会館にて、ヨット部OBの平田将人さま、(大63)、波田由夏子さま(大29)をお招きして、ヨット競技についての魅力とパリオリンピックに向けて頑張っている平田さんの意気込みを語っていただきました。終了後は、近くのバルにて、懇親会を開催し楽しい時間を過ごしました。

当日に和歌山から来て下さった平田さん、ヨット競技についての分かりやすいご説明を頂いた波田さんには、この場をお借りして感謝申し上げます。



◆和歌山大学関連

○【お知らせ】平成31年度和歌山大学一般入試について

和歌山大学では、一般入試を前期日程、後期日程に分けて以下のとおり実施いたします。

出願期間：平成31年1月28日(月)～2月6日(水)

試験日：前期日程 平成31年2月25日(月)

後期日程 平成31年3月12日(火)

なお、合格発表は、前期日程：3月6日(水)、後期日程：3月21日(木)の午前9時に、本学構内の掲示板に合格者の受験番号を掲示いたします。

詳しくは、和歌山大学HPの募集要項をご覧ください。

【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/invitation/index.html> 】

○【お知らせ】和歌山大学経済学部セミナー開催

和歌山大学経済学部では、下記の日程でセミナーを開催いたしました。

開催日時 2019年1月10日木 11:00～12:00

テーマ 財政支出の効率性に関する実証研究手法について

講師 裴世榮(Bae Se-Young)教授 大韓民国・建陽大学 金融学科

場所 西3号館(和歌山大学経済部本館棟) 5階 第1会議室

詳しくは、和歌山大学HPの募集要項をご覧ください。

【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/eco/news/2019010700020/> 】

○【お知らせ】地域活性化総合センター主催シンポジウム「学校の『限界』と連携で生まれる『可能性』を探る」のご案内開催

和歌山大学では平成31年2月16日(土)に、地域活性化総合センター主催シンポジウム「学校の『限界』と連携で生まれる『可能性』を探る～不登校・ひきこもりから学ぶ～」を開催いたします。

当日は、上記テーマを中心に、スクールソーシャルワーカーや地域若者支援団体の職員、ひきこもり者支援を行っている方等支援現場の最前線で活動されている方々をパネラーとしてお招きし、学校現場でより効果的に児童・生徒を支援するための視点や地域・支援機関など学外との連携について学び、新たな学校の「可能性」を考えるためのシンポジウムを行いますので是非お越しください。

詳しくは、和歌山大学HPの募集要項をご覧ください。

【 <http://www.wakayama-u.ac.jp/news/2019012900022/> 】

わかやま関連 Information

① わかやま春季インターンシップ 2019 参加学生募集！

和歌山県では、大学生等が夏季(7月～9月)に県内の企業・団体で一定期間就業体験を行う「和歌山県インターンシップ推進事業」を実施しています。今年度から新たに和歌山市との共催により、学生の春季休業期間中に合わせて、インターンシップを実施します。多くの学生の皆様のご参加をお待ちしております。

○実施期間 平成31年2月12日(火)～平成31年3月10日(日)

○対象学生 大学1～3年生、大学院1年生、短大1年生、高専2～4年生 専攻科1年生、専門学校生

○参加企業数 県内企業 73社(「参加企業一覧」を参照)※11月20日現在

○問い合わせ先 073-431-7400 和歌山県経営者協会 春季インターンシップ事務局

※詳細はこちら <http://w-keikyo.com/shunki/>

②東京ガーデンテラス紀尾井町で「紀州わかやまフェア」を開催！

紀州徳川家の中屋敷があったゆかりの地で、今年もフェアが開催されます。初日の「バラ梅酒スパークリングワイン」の振舞いや、和歌山産食材を使用したグルメフェア、歴史家による「紀州・紀尾井町に関する歴史セミナー」などを予定しています。是非、お越しください。

○期間 平成31年2月15日(金)から2月28日(木)まで

○会場 東京ガーデンテラス紀尾井町 (東京都千代田区紀尾井町1-2)

③「農業土木歴史偉人フォーラム」を開催します！

井澤弥惣兵衛(那賀郡溝ノ口村(現海南市野上新)出身)と大畑才蔵(伊都郡中組学文路村(現橋本市)出身)は、江戸時代中期に「紀州流土木工法」という独自の技術を導入し、紀州藩における利水・治水工事(小田井用水路、亀池等)をはじめ、関東地方の見沼の干拓、見沼代用水など、全国で数々の用水路の開削や新田開発を行い、八代将軍吉宗の享保の改革を支えました。平成29年10月10日、小田井用水路(紀の川市)の歴史的、技術的、社会的価値が国際かんがい排水委員会(ICID)に認められ、『世界かんがい施設遺産』に登録されました。二人の偉業者の功績を振り返るとともに、農地や水利施設を守り次世代へ引き継いでいくことの大切さを再認識して頂くため、フォーラムを開催します。

○日時 平成31年3月14日(木)13:30~15:30(開場13:00~)

○会場 都道府県会館1階 大会議室 (東京都千代田区平河町2-6-3)

○内容 ●基調講演

「水の匠・水の司」『紀州流』治水・利水の祖～井澤弥惣兵衛 高崎哲郎氏(作家・土木史研究家)

●歴史観光PR

「今も残る『紀州流土木工法』ゆかりの地と地域の魅力」 川村真也(わかやま紀州館 館長)

○定員 300名(要事前申込み・無料) ○申込先 和歌山県 農業農村整備課

TEL:073-441-2944 FAX:073-425-0287 E-mail:e0705001@pref.wakayama.lg.jp

※パンフレット及び申込用紙はこちら http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/28668_0.pdf

④日本遺産認定記念『百世の安堵～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～』を開催！

文化庁認定の日本遺産に、広川町の「百世の安堵」が選定されました。「稲村の火」、「濱口悟陵」で知られる防災遺産にまつわる物語。忘れてはならない、その災害の記憶を次世代へとつなげるため、様々な分野で日本文化を伝承することに取り組む方々と共にシンポジウムを開催します。

○日時 平成31年3月3日(日)13:00~15:50(開場12:30)

○会場 イノホール&カンファレンスセンター (東京都千代田区内幸町2-1-1)

○内容 ●基調講演

「歴史を学び、歩みだすこと～広川町 防災遺産～」 中江有里氏(女優・作家)

●パネルディスカッション

「日本が誇る防災遺産」 中江有里氏 藤井聡氏(京都大学教授)

西岡利記氏(広川町日本遺産推進協議会会長・広川町長)

嶋谷泰典氏(大阪大学共創機構 広報室長 特任教授)

●日本遺産トーク&ライブ

「日本が誇る伝統文化を次世代へ」

東儀秀樹氏(雅楽師)

※受付専用サイトはこちら

<https://www.mainichi-ks.jp/form/hirogawa1903/>

⑤ 紀の国の偉人 ―世界が認めた孤高の天才数学者―

和歌山県では、郷土にゆかりが深い人物を顕彰し、その名声を高めることを目的に、平成23年度から明治大学と連携し東京でシンポジウムを開催しております。今回は、和歌山県伊都郡紀見村(現橋本市)で育ち、数学研究において前人未踏の業績を残した偉大な世界的数学者である「岡潔」という人物にスポットをあてます。

●日 時:平成31年2月23日(土)13:30~16:30

●会 場:明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン3階

●参加費:無料(事前申込制 定員1,000名)

※詳細・申込みはこちら <https://academy.meiji.jp/course/detail/4546/>

⑥ 特別展「加太・友ヶ島の信仰と歴史―葛城修験二十八宿の世界―」

葛城山系には『妙法蓮華経』の一品一品が埋め納められた二十八の経塚と、それらをめぐりて行者の心身を鍛え、山の持つ力にその身を浸す行場の数々―「葛城二十八宿」をめぐる修験の道のりがあります。加太にはかつて伽陀寺と呼ばれる寺院があり、その寺の別当を務めた向井家が、現代でも行者たちを迎える「迎之坊」としてその伝統的な役目を継承し続けています。本展覧会では、加太と友ヶ島という地域の信仰とそれを担ってきた人びとの、そして葛城修験の歴史をふりかえります。

●日 時:~3月8日(金)

●会 場:和歌山大学 紀州経済史文化史研究所展示室(西5号館3階)

※詳細はこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/news/2019011600107/>

和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所 2018年度 特別展

加太・友ヶ島の信仰と歴史

―葛城修験二十八宿の世界―

2019年1月10日(土)~3月8日(金)

和歌山大学 地域活性化総合センター
紀州経済史文化史研究所 展示室
〔和歌山大学 西5号館(図書館)3階 和歌山市東7929〕

行ずる者、
迎える家、
つなぐ人びと。

開催日時 10:30~16:00
(土曜閉館時間 12:00~18:00)

休館日 土・日・祝日
※休館日(1月19日(土)、2月27日(土)、3月17日(土))は、2019年1月19日(土)と2月27日(土)は休館です。3月17日(土)は休館ではありません。3月17日(土)は休館ではありません。3月17日(土)は休館ではありません。

入場無料

コミュニケーション

特別展シンポジウム

【葛城修験の「経」の歴史、伝説―向井家支那(東洋)文書から見た文化の交流―】
※ 時:2019年2月23日(土)13:30~16:30 会場:明治大学駿河台キャンパス(東京都文京区)
※ 入場:無料(事前申込制) 定員:1,000名
※ 参加費:無料

※ 協:和歌山大学 地域活性化総合センター 紀州経済史文化史研究所 紀州地域研究センター
※ 協:和歌山大学 紀州経済史文化史研究所 紀州地域研究センター 紀州地域研究センター
※ 協:和歌山大学 紀州経済史文化史研究所 紀州地域研究センター 紀州地域研究センター
※ 協:和歌山大学 紀州経済史文化史研究所 紀州地域研究センター 紀州地域研究センター

※ 協:和歌山大学 紀州経済史文化史研究所 紀州地域研究センター 紀州地域研究センター

柑 芦 同 人 誌
平成三十一年二月一日発行 二月号



今月の表紙

日脚伸ぶ

第660号

2019. 2

平成31年2月1日 柑芦同人誌 芦 火 第660号

清記を終えて 2

660号

○純一さんの散歩道の自然は、今月は正月の縁起物でお金の名前をついた植物。ほかに老両もある。老両はアリドウシという別名があり、蟻をも通すと言うとげを持つそう。そして千両、万両、アリドウシとなれば金持ちがつづくという。いずれにしてもお目出度い。

○2019年の正月は当地は比較的暖かく天気に恵まれた。初詣、初日の出など賑わいを見た。北の方は低気圧で厳しい天候が続いているようだ。当地も三日の夜震度6のお年玉を頂いた。しかし震度6は熊本、福岡に近い所で、自宅は震度三程度ですんだ。

○今年も天災が待ち構えているという予告なのであるか。今できる事をやるしかない。

○今年の景気予想も日本では楽観論が連綿といた。企業業績は順調のようだが、米中貿易摩擦の行方が定まらず、証券市場も乱高下の様相である。

○国内政治はもとと大局を見ての話を期待するが、官僚のミスリードなどに終始してグローバルで我が国大事の世界の中で、何をすべきか見えてこない。北朝鮮の拉致と核問題、北方領土問題、沖縄の米軍基地の国内問題も膠着状況で先が見えない。批判に終始して解決するのだろうか。

○四月には新元号が発表になる。新天皇が新しい時代のシンボルとして国民の安寧の祈りをされる。国民も何かを与えられるのではなく、今何が出来るかを考えるときであろう。八〇歳でドラマに挑戦して六カ月前で人前で演奏された女性をTVでみた。その人曰く、人に負けてもよいが、自分には負けられないようにしている。余生を生きるものとして心にずしんと来た言葉であった。

◎ 本身高得点者

25点 恭行 22点 としを 21点 順一郎 18点 穂心 15点 温州
14点 善富 11点 惠若 10点 安男 9点 草炎 8点 わたる

◎ 本身高得点句

8点 毛糸編む一目一目の想ひかな 穂心
8点 身も口も軽くなりゆく日向ぼこ 順一郎
6点 落石の長き余韻や山眠る 恭行
6点 何ひとつましまらぬまま年暮るる としを
5点 寒月の悲喜飲み込みぬルミナリエ 安男
5点 寒月や秘めし祈りの天主堂 穂心
5点 流水の紋美しき紅葉涙 順一郎
5点 大寒やまとうものなきけふの富士 恭行

惜しい！4点句 ひとつとなくとしを 湧き水の善富 遠景に善富 大空を順一郎
こまやかなとしを 重き袖恭行 地球にも純一 短日や善富
年用章としを 初冬の恭行 鈍色の温州

◎ 次号系匠「切捨て御免」担当 一 恭行

次号兼題 日脚伸ぶ 冬至が過ぎると、一日に畳の目一つずつ日脚が伸びるといわれる。太陽の位置も少しずつ高くなり、家の奥まで差し込んでいた光が後退してゆく。それにつれて今度は夕空の色が徐々に明るくなって「紺」をとりもせず。春に近い光の有難さを敏感に感じる頃でもある。

・日脚伸ぶ今年為すこと多きかな 高浜虚子 ・水郷を巡る船の音日脚伸ぶ 稲福昌一
・ひとりの海苔の軽さや日脚伸ぶ 鈴木真砂女 ・校庭にボール追う声日脚伸ぶ 田中由美子
・日脚伸ぶいのちも伸びるごとくなり 日野草城 ・獄中の畳に日脚伸びにけり 角川春樹

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがですか？

発行人： 山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL :096-382-4767

OBOG 活動のお知らせ

■ 還暦記念 こどもの国リレーマラソンに出場しました。

2/2(土)に開催された「チャレンジリレーマラソンinこどもの国 ～真冬の42.195km～」に出場。還暦チームを中心に10名のランナーが、無事完走しました。



■ プロホルン奏者 東谷慶太さんが浅草コンサートを開催。

支部総会で、演奏をしてくださった東谷慶太さんがプロデュースの東京ブラスアンサンブルフェスティバル in 浅草 プレコンサートが、開催されます。金管五重奏のハーモニーを是非お楽しみ下さい。

日時:4/22(月)18:30 開場～ 19:00 開演

出演:trumpet 高橋敦 trumpet 服部孝也 horn 東谷慶太
trombone 呉信一 tuba 佐藤潔

場所:台東区生涯学習センターミレニアムホール
つくばエクスプレス浅草駅より徒歩5分

お問い合わせ

keita_higashitani@keita-higashitani.com

TEL:090-3863-93978 (東谷慶太)



柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com